

【柱7】セーフティネット

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
(1) 包括的な自立支援の推進	●潜在的な要支援者を早期に発見し、本人やその家族に必要な相談支援につなぐため、地域のネットワークなどを通じた取組を進める。	地域の身近な相談者として、支援が必要な人から話を傾聴し、関係機関に支援の依頼を行う	中野区民生児童委員協議会	—	—	区からの依頼により、毎年行っている高齢者訪問調査では、75歳以上の単身者及び高齢者のみ世帯を訪問し、生活状況やお困りごことを伺い、必要なサービスにつなげた。	—
		高齢者等家族をケアしている介護者家族(ヤングケアラーも含む)に関して、支援を必要としている人の発見や支援体制の構築に向けた情報発信や連携協力	中野区介護サービス事業所連絡会	—	—	●ヤングケアラー地域連携協議会に世話人として介護支援専門部会から参加した。 ●11月10・11日には中野区と共催で介護の日イベントを開催し、パネル展示やチラシの配布、福祉用具の展示、体験などを通じ、各種サービス、相談機関の紹介などを行った。 ●オレンジカフェの主催及び場所の提供、フードパントリーの実施や相談窓口の設置等、各事業所で可能な取り組みを工夫し地域交流を深める活動に取り組んだ。 ●介護予防教室を開催し、地域の高齢者を中心に認知症や身体機能低下の予防体操等を実施した。	—
		○社会的孤立状態にある人や生きづらさを抱えた方へ、住民や関係機関、本人や家族が相談しやすい相談窓口を提供(福祉何でも相談) ○ボランティア活動推進、相互支援の仕組み(ほほえみサービス、ファミリーサポートなど)による活動機会の提供や相談支援を行う	中野区社会福祉協議会	①ひきこもり等の生きづらさを抱えた方の新規相談件数	年間15件	福祉なんでも相談 新規相談件数201件、ひきこもり相談新規相談件数70件、合計271件	年間30件
		②ボランティア活動者数(ボランティア保険加入者数)	4,371人	ボランティア保険受付人数3,887人	6,000人		
(2) 貧困対策、自殺対策、犯罪被害者等支援、犯罪をした人の立ち直り支援・再犯防止	●生活に困窮する区民の経済的・社会的な自立に向け、個々の状況に応じた相談支援をはじめ、就労支援や家計改善支援等の一体的な支援体制の充実を図る。 ●生活が困難な状態にある子どもとその家庭に必要な支援が届くよう、行政、地域、民間事業者等が連携・協働して、子どもの学びの支援や生活の支援、経験・体験の機会の充実を図るなど、個々の状況に応じた支援を行う。	○生活困窮者の住まい「つくろいハウス」の開設・運営 ○ホームレス経験者の社会的孤立を防ぐ居場所であり、地域住民との交流の場「潮の路」の運営等、様々な事業の展開	一般社団法人 つくろい東京ファンド	—	—	中野区を中心に個室シェルター24室と支援住宅7室の運営をおこなった。個室シェルターは、10代から70代までの住まいを失った生活困窮者計57人に利用していただいた。また、居場所づくり事業として「カフェ潮の路」を年間を通して週1回開催した。	—
		生活困窮者世帯家庭・不登校・外国籍・一時保護所・児童養護施設・長期入院中の子どもへのeラーニングシステムの提供	学習支援団体CAMEL	—	—	ZOOMにて毎週火曜・金曜に小中学生に数学・英語の授業を年90回実施した。参加者は延べ約6名。学校の授業の復習に関する指導&映像授業の提供を行った。	—
		不登校児・極端に学力不足の子・夜間子どもだけで過ごす時間の多い子・コミュニケーションの苦手な子・高卒認定資格合格を目指す子・その他課題を抱えた子等に対し、学習支援と居場所提供	子ども広場<どんぐり>	—	—	●学習支援 支援回数 180回、支援対象者 延405人 ●相談支援 49回 ●食を通じた居場所作り たこ焼き作ろう・餃子パーティなど 参加者 計72人	—
		その都度勉強したい・自習の場がほしい子どもが集える場の提供	薬師たきび塾	—	—	有料塾に通っていない小中高生を対象に無料で学習支援を行った。開催日時は月の最終週を除く毎週土曜日18～20時。都度申込制として、特に面談などは行わず受け入れている。	—

【柱7】セーフティネット

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
(2) 貧困対策、自殺対策、犯罪被害者等支援、犯罪をした人の立ち直り支援・再犯防止	●生活が困難な状態にある子どもとその家庭に必要な支援が届くよう、行政、地域、民間事業者等が連携・協働して、子どもの学びの支援や生活の支援、経験・体験の機会の充実を図るなど、個々の状況に応じた支援を行う。	○地域住民や子どもたちへみらいひろば(居場所、情報交換の場)や学習会の開催 ○学習支援「みらい塾」の取り組み協力 ○ひとり親家庭の高校生への奨学金給付	生活協同組合コープみらい	—	—	●みらいひろば 中野区内施設2会場にて毎月1回開催(参加者のべ267人) 地域の方々の交流や情報交換の場を提供するとともに、区内の他団体等を講師に学習会などを開催。 ●NPO法人キッズドア主催の学習支援「みらい塾」へ会場提供やおやつ提供の形で協力(年間24回 生徒数20人)。 ●2022年度コープみらい奨学生に972名の申請があり、600名への給付が決定・月1万円の奨学金を返済不要で給付(3学年合計1,047名)。 ●11/27開催 コープみらいミニミニフェスタinコーププラザ新中野にてフードドライブを実施。寄せられた食品は桃園地域の「桃園フードパントリー」を通じて、約100人の生活困窮されている区民に寄付。	—
		常設型のフードパントリー体制の確立	中野区社会福祉協議会	—	—	●中野つながるフードパントリー 5地区で開催 502世帯へ提供 ●社会福祉法人施設での食料配布 18施設の協力で37件 ●社会福祉協議会窓口での食料配布 633件	—
		○子どもからお年寄りまでが夕食を共にする地域交流の場の提供、 ○1人親家庭及び多子家庭向けのフードパントリー	ぬまぶくろワイワイ食堂	—	—	●お弁当の提供 つづじ会館(年11回,計1,104食) 新井地域センター(年7回,計699食) ●フードパントリー 年12回,50家庭,計600家庭 ※2022年度で終了	—
		地域の子どもへのお弁当の配食	こども食堂 Annkaffeekanne	—	—	毎月第三水曜日、年12回、こども食堂を実施した。参加者延べ人数約770人。子どもと保護者の生活支援、地域社会のつながり作りに取り組んだ。	—
		ひとり親世帯、子育て世帯、若くて貧困状態にある方向けに、食材・食品の提供	東部町会フードパントリー	—	—	令和4年8月7日(日)子育て世帯を中心に食材・食品の提供を行った ●寄付等の受付期間 6/20~7/7 ●協力者 延200名 ●寄付総額 49団体 577,127円 ●寄付物品総件数 219件 ●食品提供先 延100世帯 東部在住子育て世帯 96世帯 子ども若者支援センター 3世帯 社会福祉協議会 1世帯	—
		①こまちゃんパントリー：子育て世帯の方向けに、食生活応援として、食材・食品の提供 ②さくらフードパントリー：食生活にお困りの方向けに、相談支援、食品や寄付物品(生活用品)を提供	こまちゃんパントリー さくらフードパントリー	—	—	<こまちゃんFP> ●毎月1回の定例の他、個別に随時開催を行った。 ●クリスマスには施設の高齢者と協力して、お楽しみプレゼント(お菓子)会を行った。 <さくらFP> ●個別相談の都度随時提供 <こまちゃん・さくら>合計104件	—
		子ども向け食堂、配食	エブロン若菜	—	—	子ども食堂でお弁当の配布を年を22回実施した。参加者延べ約900名	—
		●誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現に向けて、関係機関との連携を図るとともに、区民と協働しながら全ての人に生きることを支える支援を進める。	★自殺を未然に防ぐ体制の整備 ○自殺対策メール相談事業 ○自殺対策普及啓発 ○中野区自殺対策審議会	保健予防課	①自殺死亡率(10万人対)	17.6人	13.9人

【柱7】セーフティネット

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体・主管課	指標	2021年度以前の実績	2022年度実績	2025年度の目標値
(2) 貧困対策、自殺対策、犯罪被害者等支援、犯罪をした人の立ち直り支援・再犯防止	●犯罪や非行を防ぐとともに、犯罪や非行をした人の立ち直りを支え、地域で孤立させないため、保護司、更生保護ボランティア団体、関係機関・団体等と区が連携した取組や支援を行う包括的な体制の構築を進める。	○保護司活動を通じた犯罪・非行の防止、犯罪・非行をした人の立ち直り支援や更生保護の取組 ○保護司活動や「社会を明るくする運動」を通じた犯罪・非行の防止、犯罪・非行をした人の立ち直り支援や更生保護・再犯防止普及啓発	保護司	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ●すこやか地域ケア会議へのオブザーバー参加(年3回) ●再犯防止推進支援者研修会での講義及び参加 ●「社会を明るくする運動」強調月間において街頭啓発活動や各地区推進委員会で啓発イベントを実施 ●「社会を明るくする運動」作文コンテストを実施。参加学校21校 応募作品753作 	—
		犯罪や非行の防止のための啓発活動や、少人数の区民による対話集会(ミニ集会)の実施、矯正施設の慰問、保護司への協力などの他、子育て支援活動等の地域社会づくり。	中野区更生保護女性会	—	—	<p>コロナ感染防止措置により制限を加え活動しました。 5月の総会1月の新年会は人数制限をし実施しました。 3月研修会を実施しました。</p>	—